

2012年 モニター試験結果報告書

1 試験テーマ	供試肥料	韋駄天（北海道向けイノシン入り化成931号）							
	目的	水稲における食味向上と収量増加							
2 担当部署（エリア：担当者）		東京オフィス 清水							
3 耕種概要	①試験場所	千葉県 香取市							
	②試験面積	試験区20a 慣行区40a				土壌分析の有無 <input type="checkbox"/> 有（別紙添付） <input checked="" type="checkbox"/> 無			
	③土性	黒ボク土 粘土質							
	④対象作物	水稲 品種: コシヒカリ 前作: コシヒカリ							
	⑤播種日	(定植日) 2009年4月26日							
	⑥播種量他	栽植密度							
	⑦防除履歴	回数		回 殺菌剤		回 殺虫剤		回	
	⑧生育調査	回数		6 調査日		6月/ 6日 7月/ 6日		7月/ 26日	
	8月/ 6日		9月/ 1日		9月/ 9日		月/ 日 月/ 日		
	収穫日 2009年 9月 10日 ()								
4 施肥設計	試験区の設計				慣行区の設計				備考
	施肥分量 (kg/10a)				施肥分量 (kg/10a)				
		N	P	K	微量元素	N	P	K	微量元素
	基肥	3.6	8.8	4.4		4.8	8.4	4.8	
	追肥	0.9	1.3	1.1					
	液肥								
	葉散材他 その他								
合計	4.5	10.1	5.5		4.8	8.4	4.8		
使用肥料について									
イノシン入り化成931(韋駄天931)+米助の複合試験。									
対照区は一発化成									
5 調査結果	生育調査	(試験区)				(対象区)			
		初期根張りが非常によく、定植40日目では分蘗数が多かった。				試験区に比べ初期の根張りが遅い。第4節間も若干長めだった。			
		また、第4節間も短く茎が丈夫であった。							
	収量調査	対照区と分蘗数に差は見られず、				収量：600kg			
		収量についてもほぼ違いはなかった。				食味試験：64(サタケ製)			
収量：585kg				蛋白：7.0%					
アミノ 倶楽部 分析	食味試験：76(サタケ製)								
	蛋白：6.6%								
	未検査								
6 結果の概要	初期の根張りが良く、収穫直前(9月1日)に台風が来ても倒伏がほとんど見られなかった。								
	しかし収穫直前であったために収量にはほぼ影響が見られなかったようである。								
	食味については試験区で品質向上が見られる。								
7 考察まとめ	食味の向上、蛋白の低下から、高品質米が取れることが				モニターの感想				
	確認された。				一番おいしいと感じた米が試験区。				
	これは初期の根張りを良くしたことで、肥料成分の体内残				韋駄天と米助を使ってここまで				
	抑制し、特に窒素が代謝され糖化されたためと思われる。				違いが出たことに驚いた。				
収量への影響は評価しにくいですが、品質向上は評価できる。									